

幸福になるために

2025. 9. 17

ここ数年のことだろうか。毎日のように文章を書くようになってからは、たまに考えるようになった。考える度に文章にしている。それは、「幸福」についてである。

どのようにすれば、幸福になれるのだろうか。明確な答えはないのだろう。そもそも、幸福かどうかを決めるのは、人ではない。自分自身である。

幸福というものは、これを求めようとする、かえって得られないものである。逆に、自分の為すべきつとめを真剣にやっていたら、自然に与えられるものではないだろうか。つまり、幸福というものは、それ自身を追求すると、かえって得にくいものであり、仮に得られたとしても、すぐに消えてゆくものである。

自分が幸福だと思うことなど、まずない。それはなぜか。自分のつとめを真剣にやったことなどないからである。ただし、ふとしたときに、これはもしかしたら幸福なのかなと思うことはある。それは、特別な瞬間ではない。何気ない日常の一コマである。だから、求めようとして得たものではない。

幸福というものは、その人が人間として為すべき事柄と真剣に取り組んでいけば、自然と得られるものではないか。だから、誰もが幸福になることはできる。では、人間として為すべき事柄とは何か。いろんな考えがあることだろう。

例えば、その人が自分の天分を十分に発揮し実現することはどうだろう。あるいは、人のために親切にするなどである。たぶん、そんなに高度なむずかしいことではないのかもしれない。ただ、どれだけ真剣に取り組めるかが問題なのである。

自分の為すべきつとめ、それこそが天分であろう。そもそも天分というものは、それを認識することがむずかしい。特に、若いうちに気づくのは容易なことではない。経験や見識が必要となる。きっと、幸福になろうとしてなるのではなく、自然とそうなるものなのだろう。だから、ふとしたときに、それを感じるのではないだろうか。

自分としては、自分の幸福を求めているわけではない。どちらかというと、家族とか自分に近い範囲の幸福を求めている。あるいは、世の中の幸福を考えることもある。そう考えると、自分にできることなど、ほとんどないように思えてくる。それでも、自分がやるべきこと、天分ともいえることをやり続けていきたい。